

令和2年度
北区飛鳥山博物館事業計画

2020. 3. 25

1 令和2年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

○大河ドラマ館の開設に伴う企画展の中止

令和3年1月から始まる渋沢栄一翁を主人公とするNHK大河ドラマ「青天を衝け」の放映に伴い、大河ドラマ館を当館内に開館することとなった。(別紙参照)このことにより10月半ば以降、特別展示室・ホワイエ・講堂の利用が不可能となった。このため通年行っていた秋期企画展および春期企画展を中止とする。また、学校対応事業展示は体験学習室を展示会場とするが、一般公開は行わない予定。

○常設展示部分リニューアル

今年度、七社神社前遺跡出土縄文土器の分析調査を行い大きな成果を得られたことから、成果をまとめたパネルとともに当該土器を常設展示室内に展示する。あわせて他の展示コーナーのパネルを中心に展示替えを行う。

(2) 講座・講演会事業

○利用者の拡充

新たな利用者が参加できるような講座の工夫を行う。新規講座の開催や、未就学児や小中学生が参加できる講座を開催する。

・新規講座

一般向け講座：23 講座

わくわく講座：2 講座

・未就学児～小中学生向け講座

一般向け講座：4 講座

わくわく講座：1 講座

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	1回
特別展覧会	1回
夏休みわくわく展示	1回
スポット展示	1回
常設展示室活用展示	2回
計	6回
(令和元年度)	8回)

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
GO! ゴー!	
ミュージアム	1回
計	2回
(令和元年度)	2回)

(3) 講座・催し物

一般向け講座 47講座 54回

展示関連講座 5講座 6回

わくわく講座 13講座 30回

65講座 90回

(令和元年度 53講座 81回)

令和2年度の事業 ※名称は仮称、実施日・回数は予定。

1. 展示

★ 企画展 1回 (内1回は元年度事業)

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	令和元年度春期企画展「飛鳥山三百年展—いかにして飛鳥山は名所となったのか?—」	4月1日(水)～ 5月10日(日)	特別展示室 ホワイエ 講堂	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>飛鳥山は、享保5年(1720)、吉宗によって桜が植えられてから300年を閲し、今も花見の名所として親しまれている。また区立飛鳥山公園は日本最初の太政官公園でもあり、飛鳥山の歴史はすなわち日本の公園史と言っても良い位相を占めている。本展示では、飛鳥山開発の経緯を、吉宗の行った一連の都市政策として捉え、享保改革の地域展開の一例として紹介しつつ、身近な名所がもつ歴史的意義を明らかにしたい。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>既往の名所展示の成果を踏まえ、本展では文献資料を駆使し分析を加え、より深く飛鳥山開発の経緯と意義を明らかにしたい。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第19回 人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」	9月12日(土)～ 10月11日(日)	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>美術工芸分野に関心がある層の新規来館を促す。利用者拡充。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	

〈備考〉

近年は美術・工芸系の高校・大学・専門学校、またカルチャースクールにも範囲を広げて広報をおこなっている。

★ 夏休みわくわく展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2020「北区のこどもたち」	7月21日(火)～ 8月30日(日)	特別展示室	工藤
〈概略〉 「夏休みわくわくミュージアム☆2020」の一環。北区が成立した昭和22年前後から現在まで、北区の子どもたちの暮らしを展示する。(勉強道具、遊び道具、学童疎開関係資料など)				
〈ねらい〉 自由研究への素材提供。			〈対象〉 小・中学生	
〈備考〉				

★ スポット展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	ASUKAYAMA セレクション5★ 2020★	5月23日(土)～ 6月21日(日)	特別展示室	谷口
〈概略〉 収蔵資料の中から、5点に注目して紹介する展示。今年は東京五輪開催を記念してテーマを「オリンピック」と設定し、オリンピックないしそれに関連する資料5点を展示する。				
〈ねらい〉 収蔵資料の活用。資料の新たな視点の提供。			〈対象〉 一般	
〈備考〉 副担当：安武・田中 展示監修：久保埜				

★ 常設展示室活用展示 2回(内1回は元年度事業)

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	4月1日(水)～ 6月14日(日)	常設展示室	久保埜
〈概略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉			〈対象〉	

常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。		一般		
〈備考〉				
2	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	3月19日(土)～ 6月20日(日)	常設展示室	工藤
〈概略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。			〈対象〉 一般	
〈備考〉				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2020	7月21日(火)～ 8月30日(日)	特別展示室 ホワイエ 常設展示室 体験学習室	工藤
〈概略〉 博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。特別展示室では「数の不思議」を実施（概要は夏休みわくわく展示参照）。ホワイエでは「地域しらべのスヌメコーナー」を設置し、自由研究をサポートする。また、同じホワイエにおいては「絵本&ぬり絵コーナー」を設置。常設展示室では楽しんで展示を巡る「ブラック・コン吉を探せ!」を行う。さらに、体験学習室を中心に各所講座を開催する（詳細は夏休みわくわく講座参照）。				
〈ねらい〉 夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。また、絵本&ぬり絵コーナーは未就学児でも博物館を楽しんでもらうために実施。			〈対象〉 小中学生とその家族	
〈備考〉				
2	飛鳥山3つの博物館合同企画「GO!GO!ミュージアム2020」	10月3日(土)・4日(日)	常設展示室 体験学習室	鈴木
〈概略〉 常設展示室を無料開放。その他各館独自のイベントを行う。当館は体験学習室において勾玉ストラップづくりを実施。				

<ねらい> 区民まつりに参加し、3館をPRする。普段博物館をあまり利用しない人に身近に感じてもらうようにする。	<対 象> 一般
<備 考>	

3. 講座・講演会

★ 一般講座 47 講座 54 回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	ビミョーなところがわかる!『江戸名所花暦』	4月19日(日)	体験学習室	20名	石倉
<概 略> 江戸の四季の花の移ろいを記した『江戸名所花暦』を題材に名所の姿をわかりやすく解説する。					
<ねらい> 文献資料ならびに画像によって江戸の名所理解を深める。			<対 象> 一般		
<備 考> 新規講座					
2	北区文化財めぐり パート1	4月26日(日)	常設展示室 野外	25名	山口 田中
<概 略> 西ヶ原地区に所在する区・都・国指定文化財を中心に現地で解説を行う。見学は旧古河庭園(庭園・洋館)、西ヶ原一里塚などを予定。					
<ねらい> 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。			<対 象> 一般		
<備 考> 継続講座					
3	ヘンタイ仮名くらぶ	5月10日(日)	体験学習室	20名	石倉
<概 略> 江戸時代の版本を題材に変体仮名の世界に挑戦する。					
<ねらい> 名所理解を深める。変体仮名の読み方を習得する。			<対 象> 一般		
<備 考> 新規講座					
4	もーっと!博物館を楽しむ講座 新しい資料の見方	5月17日(日)	講堂	30名	工藤

<p>〈概 略〉</p> <p>対話型鑑賞という方法で博物館資料を観察し、いつもと違った資料の見方を獲得する。収蔵資料を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。初級編は比較的鑑賞しやすい浮世絵や古写真などを用いる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座</p>					
5	北区遺跡学講座 2020「志茂遺跡・熊野神社遺跡」	5月23日(土)	講堂 野外	25名	牛山
<p>〈概 略〉</p> <p>北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。今回は志茂遺跡と熊野神社遺跡を合わせて訪れる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座</p>					
6	北区文化財めぐり パート2	5月29日(金)	常設展示室 野外	25名	山口 田中
<p>〈概 略〉</p> <p>飛鳥山周辺に所在する区・都・国指定文化財を中心に現地で解説を行う。見学は旧渋沢家飛鳥山邸、旧醸造試験所第一工場などを予定。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座</p>					
7	考古楽講座〈中級編〉考古学を学ぶー衣の考古学ー	6月6日(土)	講堂	60名	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>原始古代の人たちはどんな服装をしていたのか、考古資料や文献資料などから探る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>遺跡や遺物への理解や関心を高める。新規来館者の獲得。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座</p>					

8	92年前、五輪を目指した区民がいた！	6月14日(日)	講堂	60名	久保埜
<p><概略> 1928年、アムステルダム五輪に出場した北区民を通して、北区と五輪の関わりを解説する。</p>					
<p><ねらい> 東京オリンピックへの関心が高まるなか、参加者を幅広く誘致する。</p>			<p><対象> 一般</p>		
<p><備考> 新規講座</p>					
9	北区ジュニア考古学クラブ 遺跡を歩こう2020	6月21日(日)・28日(日)全2回	講堂 野外	16名	安武
<p><概略> 今に残る古代の遺跡を訪ねる。今回は千葉市内の遺跡を訪ねる予定。その後、希望者とは1年を通して考古学に関わる活動を行う。</p>					
<p><ねらい> 考古資料への理解や関心を高める。新規メンバーの募集。</p>			<p><対象> 考古学に興味のある小中学生とその保護者</p>		
<p><備考> 継続講座。マイクロバス使用。</p>					
10	「お富士さん」直前！ 北区と近郊富士塚めぐり	6月26日(金)	講堂 野外	20名	田中
<p><概略> 6月30日・7月1日の「お富士さん」に合わせて、十条富士塚および近郊の富士塚をめぐって現地解説を行う。</p>					
<p><ねらい> 区内の富士信仰について知る。指定文化財の十条富士塚などを現地でみることによって、富士塚の構造を理解し、関心を高める。</p>			<p><対象> 一般</p>		
<p><備考> 継続講座</p>					
11	明治時代のハローワークへようこそ！	6月27日(土)	講堂	60名	石倉
<p><概略> 江戸から続く仕事、そして明治になって新しく始まった仕事など、近代初期の職業の多様性を学ぶ。</p>					
<p><ねらい> 価値観の激変がみられた明治時代の職業を知り、今昔の労働観を学ぶ。</p>			<p><対象> 一般</p>		

<備 考> 新規講座					
12	はっきり言って難しい！中世武士団豊島氏	7月12日（日）	講堂	60名	石倉
<概 略> 豊島宮城文書を題材に、南北朝時代から室町時代にかけて武蔵国武士団豊島氏の動向を探る。					
<ねらい> 中世文書の解説を行う。			<対 象> 一般		
<備 考> 新規講座					
13	第36回新聞から読む考古学－2020年上半期を振り返る－	7月19日（日）	講堂	60名	鈴木
<概 略> 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2020年上半期の記事を取り上げる。					
<ねらい> 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			<対 象> 一般		
<備 考> 継続講座					
14	こんにちは赤ちゃん体験講座「アーユレディ？博物館でお産準備」	7月23日（木）	講堂 体験学習室	20名	安武
<概 略> 出産準備の一環として、縄文時代の祈りの道具「土偶」づくりと、妊婦の身体づくりを行う。助産師からお産にかかわる話や妊婦体操等をご指導いただいたのちに、担当学芸員とともに土偶づくりを行う。					
<ねらい> 利用者の拡充			<対 象> 妊婦とその家族		
<備 考> 継続講座					
15	ヴィジュアルでわかる！浮世絵で知る北区の魅力	8月23日（日）	講堂	60名	石倉
<概 略> 王子・飛鳥山・滝野川を描く浮世絵を画像学的に分析し、地域の魅力を紹介する。					
<ねらい> 浮世絵資料を歴史資料として活用し、地域の名所理解を深める一助とする。			<対 象> 一般		

<p>〈備考〉 新規講座</p>					
16	考古楽講座〈中級編〉考古学を学ぶ一頁の話一	8月30日(日)	講堂	60名	安武
<p>〈概略〉 さまざまな考古学的発見から、古代人と貝の深い関係について解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					
17	考古楽講座〈上級編〉考古学の世界	9月5日(土)	講堂	60名	鈴木
<p>〈概略〉 講師を招き、その専門領域に関連して北区の事象を深く掘り下げて話してもらおう。今回は動物考古学についてお話をしてもらおう予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 外部講師から専門的な話をしていただき、考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。帝京大学文化財研究所 植月学准教授に交渉予定。</p>					
18	渋沢栄一と帰一協会	9月6日(日)	講堂	60名	石倉
<p>〈概略〉 大正期の渋沢栄一の社会活動のなかで、東京帝国大学宗教学研究室姉崎正治との関わりから起きた市民道徳の復興を目的とする帰一協会の趨勢について紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 令和3年度NHK大河ドラマの主人公である実業界の大立者・渋沢の知らざる社会方面の活動の一端を紹介する。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					
19	北区古代史教養講座シリーズ① 「北区と古代史」	9月13日(日)	講堂	60名	谷口
<p>〈概略〉 北区における古代史(考古学を含む)研究のこれまでの流れを振り返るとともに、律令国家制度など古代史を学ぶ上で必要な基礎知識を解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区における古代史研究を見ることで、古代史に関する関心を深める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		

<p>〈備考〉 新規講座</p>					
20	もっと！博物館を楽しむ講座 新しい資料の見方	9月27日（日）	講堂	30名	工藤
<p>〈概略〉 収蔵資料を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。定期的に対話型鑑賞を行い、洞察力や批判的思考力、コミュニケーション力、主体的に学ぶ力を養う。</p>					
<p>〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座</p>					
21	勾玉ストラップをつくろう！	10月3日（土）・4日 （日）計2回	体験学習室	各回 100名	鈴木
<p>〈概略〉 石を研いでミニサイズの勾玉を作り、ストラップにする。</p>					
<p>〈ねらい〉 区民まつりに参加し、普段博物館をあまり利用しない人に身近に感じてもらうようにする。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座</p>					
22	文化財めぐり 新選組とテルマ エ・ロマエ、滝野川の旧中山道を 歩く	10月17日（土）	野外	20名	田中
<p>〈概略〉 滝野川地域に所在する文化財をめぐり、現地で解説を行う。近藤勇と新選組隊士供養塔、中山道三軒家、稲荷湯などを見学する予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					
23	川柳で知る江戸の暮らし	10月18日（日）	北とぴあ研 修室	80名	石倉
<p>〈概略〉 江戸時代の庶民の哀歓を記す川柳を題材に、庶民の生活史を明らかにする。</p>					

<p>〈ねらい〉 当館ではスタッフ的に実施できない江戸文芸資料を使った文化史講座を実施することにより、より近世史への関心を惹起することが可能となる。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。外部講師：谷田有史氏（たばこと塩の博物館学芸員）</p>					
24	ちびっこ体験講座「あすかやまのどんぐりでおもちをつくらう！ーでんでんだいこ編ー」	10月24日（土）	体験学習室 飛鳥山公園	30名	安武
<p>〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内に落ちているどんぐりを拾って、オリジナルのでんでんだいこと、牛乳パックマラカスを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡充を図る</p>		<p>〈対 象〉 3・4・5歳児と保護者</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
25	文化財公開事業「稲付の餅搗き唄」の実演と体験	10月31日（土）	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
<p>〈概 略〉 区指定無形民俗文化財の「稲付の餅搗唄」の実演を継承地域の付近の体験館で実施する。併せて、見学者にも実際に餅を搗いてもらう。地元の西が丘小の児童に参加してもらうことで、土地に伝わる伝統芸能についての小学校への取り組みを区民等に知ってもらう。ついた餅は見学者にふるまう。</p>					
<p>〈ねらい〉 区指定無形民俗文化財「稲付の餅搗唄」の周知を図り、文化財啓発を図る。また、西が丘小、赤羽商業高校等の参加を促し、次世代への文化財継承の一助とする。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
26	歩く勉強会～リチギにたどる区界2	11月1日（日）	体験学習室	30名	久保埜
<p>〈概 略〉 令和元年に田端～滝野川の区界をたどったところ大変好評だったため、今回は東田端～昭和町～堀船を歩く。</p>					
<p>〈ねらい〉 現地を訪ねることで地域への関心と理解を深める。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉</p>					

継続講座					
27	北区遺跡学講座 2020「未定」	11月3日（火・祝）	体験学習室 野外	25名	牛山
<p>〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。見学地は未定。</p>					
〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。			〈対 象〉 一般		
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
28	『守貞謄稿』で読む！江戸時代のグルメ	11月7日（土）	北とびあ研 修室	60名	工藤
<p>〈概 略〉 江戸時代のモノ資料に関する百科事典である『守貞謄稿』を題材に、当時の生活史を明らかにする。今回は描かれている食文化に注目する。</p>					
〈ねらい〉 道具の使い方について江戸と大坂を対比しつつ解説をし、歴史学と民俗学をモノでつなぐ講座とする。			〈対 象〉 一般		
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
29	文化財講演会（銭湯建築と文化（仮））	11月8日（日）	北とびあ研 修室	60名	山口
<p>〈概 略〉 東京型銭湯建築の特徴や銭湯経営の暮らし方や銭湯文化などについて講演を予定。</p>					
〈ねらい〉 登録有形文化財に登録された稲荷湯を念頭に、銭湯と地域の移り変わりなどを伝える。			〈対 象〉 一般		
<p>〈備 考〉 継続講座。外部講師未定。</p>					
30	ちびっこ体験講座「あすかやまのどんぐりでおもちゃをつくろう！ーマラカス編ー」	11月14日（土）	体験学習室 飛鳥山公園	20名	安武
<p>〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内に落ちているどんぐりを拾って、紙筒マラカスを作る。</p>					
〈ねらい〉 利用者層の拡充を図る。			〈対 象〉 1・2歳児と保護者		

<p>〈備考〉 継続講座</p>					
31	東京9区文化財古民家めぐり「旧松澤家住宅説明会」	11月15日(日)午前・午後 計2回	北区ふるさと農家体験館	各回30名	山口
<p>〈概略〉 北区ふるさと農家体験館運営協議会と共同で見学会を行う。ふだん見ることができない屋根裏も公開。</p>					
<p>〈ねらい〉 古民家への理解促進を図る。北区ふるさと農家体験館運営協議会とのコラボレーション。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座</p>					
32	考古楽講座 遺跡に行こう！秋	11月21日(土)・22日(日) 全2回	体験学習室 野外	30名	鈴木
<p>〈概略〉 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。昨年度に引き続き「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の实地踏査、当日の見学会までを行う。</p>					
33	やばいぞ！『藤岡屋日記』で知る江戸の行楽	11月29日(日)	北とぴあ研修室	80名	石倉
<p>〈概略〉 幕末の江戸の世相を記す「藤岡屋日記」に記された、江戸各地の花見をめぐる世相と風俗を紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 飛鳥山をはじめ江戸文化理解・名所理解の一助とする。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					
34	ちびっこ体験講座「あすかやまのおちばでおたよりをつくろう！」	12月5日(土)	体験学習室 飛鳥山公園	30名	安武
<p>〈概略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内の落ち葉を拾って、ポストカードを作り、投函する。</p>					

〈ねらい〉 利用者層の拡充を図る		〈対 象〉 4・5 歳児と保護者			
〈備 考〉 新規講座					
35	北区古代史教養講座シリーズ② 「古代の神社、『式内社』について学ぶ」	12月13日(日)	北とびあ研 修室	60名	谷口
〈概 略〉 『延喜式神名帳』に規定されている「式内社」を起点として、神祇令をはじめとした古代国家制度における神社制度について解説する。					
〈ねらい〉 式内社を中心に古代神社制度について考えることで、北区の神社の歴史に関する理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
36	もーっと！博物館を楽しむ講座 「学芸員と博物館めぐり パート1」	12月19日(土)	館外	30名	工藤
〈概 略〉 他の博物館をそれぞれの館の学芸員から解説を受けながらめぐり、多種多様な「博物館」を知る。見学館は未定。					
〈ねらい〉 参加者が主体的・自発的に博物館にかかわるきっかけを作る。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
37	これが分かれば大したものだ！ 中世諸国一宮制と総社制	12月20日(日)	体験学習室	24名	石倉
〈概 略〉 諸国一宮のなかでも関東地域の占める特質を講義する。					
〈ねらい〉 古代式内社以降の神社史を展望する。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
38	第37回新聞から読む考古学－ 2020年下半期を振り返る－	12月27日(日)	講堂	60名	鈴木
〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講					

座。今回は2020年下半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座					
39	『下村記行』でみる江戸の暮らし	1月24日(日)	志茂ふれあい館	60名	工藤
〈概 略〉 江戸時代に農民の目線で記された紀行文を読み解く講座。2月の白酒祭に合わせて講座を行う。					
〈ねらい〉 近世の北区域に対する理解を深める			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
40	考古楽講座〈中級編〉考古学を学ぶー土偶の話ー	1月31日(日)	北とびあ研修室	60名	安武
〈概 略〉 北区東谷戸遺跡出土土偶を中心に、縄文時代の土偶について詳しく解説する。					
〈ねらい〉 考古資料への理解や関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
41	北区古代史教養講座シリーズ③ 『万葉集』からたどる人々の暮らし	2月7日(日)	北とびあ研修室	60名	谷口
〈概 略〉 豊島郡上丁椋椅部荒虫之妻宇遅部黒女の歌を筆頭に、『万葉集』に残る様々な歌を見ることで、古代の庶民の暮らしをたどる。					
〈ねらい〉 民衆の様子を歌で記した『万葉集』を読み解くことで、当時の豊島郡にいたであろう民衆の暮らしへの理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
42	北区の考古学〈地域編〉赤羽	2月13日・20日・27日 各(土) 全3回	赤羽北ふれあい館	60名	鈴木 牛山 安武
〈概 略〉					

北区内の1地域に注目して、その地域の古代の諸相について解説する講座。今回は赤羽地域を時代ごとに解説する。考古担当学芸員によるリレー講座。					
〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。鈴木：旧石器・縄文時代・牛山：弥生時代・安武：古墳～飛鳥時代					
43	もっと！博物館を楽しむ講座 「学芸員と博物館めぐり パート2」	2月23日（火・祝）	館外	30名	工藤
〈概 略〉 他の博物館をそれぞれの館の学芸員から解説を受けながらめぐり、多種多様な「博物館」を知る。見学館は未定。					
〈ねらい〉 参加者が主体的・自発的に博物館にかかわるきっかけを作る。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
44	音盤に刻まれた時代～北区にちなんだ楽曲	3月6日（日）	体験学習室	24名	久保埜
〈概 略〉 「飛鳥山音頭」など戦前戦後に作られた北区域を題材にした楽曲の存在を紹介し、楽曲が作られた時代背景などについてお話する。					
〈ねらい〉 地域の変遷について関心を深める			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
45	考古楽講座 遺跡に行こう！春	3月12日（土）・13日（日） 全2回	講堂 野外	30名	鈴木
〈概 略〉 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。					
〈ねらい〉 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。昨年度に引き続き「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の実地踏査、当日の見学会までを行う。					
46	北区民俗学講座「北区の旧村地域を歩く－田端村編－」	3月20日（日）	田端ふれあい館・野外	30名	工藤

<p>〈概 略〉</p> <p>対象地域を風習や民俗が最も色濃かった江戸時代の旧村地域とし、参加者と共に現地を歩くことで、現代に残る民俗や、その民俗がどのように変化してきたかを参加者に紹介する。今回は対象を旧田端村地域とし、実際に参加者と共に現地調査を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>自身が暮らす地域に対し、新たな視点を獲得することで地域への愛着を深める。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
47	北区古代史教養講座シリーズ④ 『将門記』からひも解く豊島氏	3月27日(日)	北とびあ研 修室	60名	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>中世の北区において活躍した武士団たちの源流である、古代の武士たちの様子を、彼らについて如実に記した軍記物語、『将門記』を用いて解説します。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>北区における中世武士団へのさらなる理解を深める。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座</p>					

★展示関連講座 5講座 6回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	特別展覧会付帯事業「人間国宝に学ぶ！鍛金体験講座」	9月19日(土) 午前・午後 計2回	体験学習室	各回 11名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、人間国宝・奥山峰石氏を講師に迎えて、金属のストラップなどを製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
2	特別展覧会付帯事業「陶芸に親しみ学ぶ講座」	9月22日(火・祝)	体験学習室	20名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	

<p><備 考> 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
3	特別展覧会付帯事業「金工に親しみ学ぶ講座」	9月26日(土)	体験学習室	13名	久保埜
<p><概 略> 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p><ねらい> 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
4	特別展覧会付帯事業「工芸の現場—作家のアトリエ訪問—」	10月10日(土)	作家アトリエ	10名	久保埜
<p><概 略> 出展作家の工房で実際の作業を見学し、工程の一部を体験させてもらう。</p>					
<p><ねらい> 美術や手芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
5	特別展覧会付帯事業「作家が語る！作品解説」	10月11日(日)	特別展示室	20名	久保埜
<p><概 略> 制作の意図や技術についてより理解を深めてもらうことを目的として、出展作家(4~5名)が自らの作品の意図や技法などについて解説をおこなう。</p>					
<p><ねらい> 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					

★ 夏休みわくわく講座 13 講座 30 回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	夏休み土器づくり教室	7月21日(火)・28日(火)・8月4日(火)・10日(月・祝)・18日(火)計5回	体験学習室	各回 16組 32名	鈴木 安武
<p><概 略> 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。</p>					

<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦勞や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>		<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。親子で1つの土器を作る。</p>					
2	和のデザインで団扇作り	7月22日(水)・8月5日(水) 計2回	体験学習室	※	田中
<p>〈概 略〉 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、骨に紙を貼って団扇をつくり、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の人は道具(団扇)を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇を作ることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>		<p>〈対 象〉 22日:小学3年生～中学生と保護者の2名1組 5日:小学3年生～中学生</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。※22日は16組32名。5日は子供のみ16名。</p>					
3	夏休み勾玉づくり教室	7月24日(金)・8月2日(日)・7日(金)・16日(日)・21日(金) 計5回	体験学習室	各回 16組 32名	鈴木 安武
<p>〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦勞や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>		<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。保護者も製作可。</p>					
4	江戸の縁起物【絵馬】を作ろう!	7月25日・8月8日 各(土) 計2回	体験学習室	各回 16組 32名	石倉
<p>〈概 略〉 板にボスカで塗って昔ながらの絵馬を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 近世の縁起物の奥深い世界を、体験学習を通じて学ぶ。</p>		<p>〈対 象〉 小学生～中学生と保護者の2名1組</p>			

<p>〈備考〉 継続講座</p>					
5	親子で浮世絵鑑賞教室	7月26日・8月9日各 (日) 計2回	講堂	各回 30名	工藤
<p>〈概略〉 当館所蔵の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。</p>					
<p>〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。親子で対話型鑑賞法を実践することで、正誤のある問題に正答することと同じか、それ以上に、答えのない問いについて考えることが大切だということを、保護者の方々に知ってもらう。</p>			<p>〈対象〉 小学生とその保護者</p>		
<p>〈備考〉 継続講座</p>					
6	北区記者クラブ	7月29日・8月12日 各(水) 計2回	体験学習室	各回 30名	工藤
<p>〈概略〉 王子地区の文化財を巡り、夏休みの宿題となるような内容の取材をして新聞を作成する。</p>					
<p>〈ねらい〉 夏休みの宿題の素材提供。北区の歴史について興味を持ってもらう。</p>			<p>〈対象〉 小学4年生～中学生</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					
7	はくぶつかん探検隊	7月30日・8月20日 各(木) 計2回	体験学習室 館内	各回 30名	谷口
<p>〈概略〉 普段は入れない博物館の裏側(常設展示室や館内、バックヤードなど)を担当学芸員の案内で探検する。最後に博物館の仕事を見学したり、館内で働いている人にインタビューしたりしたことを、まとめて発表する。</p>					
<p>〈ねらい〉 博物館に愛着を持ってもらう。</p>			<p>〈対象〉 小中学生</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
8	昔のおもちゃを作って、いっしょに遊ぼう	7月31日(金)	体験学習室 講堂	32名	久保埜 鈴木
<p>〈概略〉</p>					

割り箸鉄砲など、昔ながらの手作りおもちゃを作り、全員で実際に遊んでみる。					
〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。			〈対 象〉 年長～小学生2名までと保護者1名の2～3名1組		
〈備 考〉 継続講座。					
9	夏休みこどもれきし講座「北区れきし探偵団」	8月1日・15日各(土) 計2回	常設展示室 体験学習室 野外	各回 16名	谷口
〈概 略〉 博物館内の展示資料他、本や実物資料・写真を用いて、北区にまつわる歴史上の人物一人にスポットを当てて、その人物を調査する。探偵団バッジとオリジナルの探偵手帳(シート)を作成。今回は飛鳥山桜植樹300年を記念して徳川吉宗について調べる。					
〈ねらい〉 北区ならびに歴史への子供たちのさらなる興味・関心を高める。歴史を学ぶ・調べる場の提供。夏休みの自由研究の素材提供。			〈対 象〉 小学4年生～中学生		
〈備 考〉 新規講座					
10	夏休み縄文人なりきり体験教室	8月6日(木)午前・午後 計2回	講堂 搬入口付近	各回 30名	安武 鈴木
〈概 略〉 外部講師に依頼し、縄文時代の衣食住にかかわる体験(縄文服体験、火おこし体験、弓矢体験、木の実つぶし体験、縄文の文様付け体験)を行うもの。参加者には「なりきり縄文人認定証」をプレゼントする。					
〈ねらい〉 縄文文化への理解や関心を高める。他機関とのコラボレーション。			〈対 象〉 小学3年生～中学生2名までとその保護者1名の2～3名1組		
〈備 考〉 継続講座。東京都埋蔵文化財センターとの共同事業。					
11	チャレンジ!昔の手仕事～藍染	8月13日(木)・14日(金) 計2回	体験学習室	各回 24名	久保楚
〈概 略〉 藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。					
〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。			〈対 象〉 小学生2名までと保護者1名の2～3名1組		

<備 考> 継続講座					
12	牛乳パックで行燈づくり	8月19日(水)	北区ふるさと農家体験館	16組 32名	山口
<概 略> 牛乳紙パックと豆電球を使って、昔の灯りの道具・行燈を作る。完成後は古民家で昔の暗さを感じつつ、灯りをとます。					
<ねらい> 昔の明かりの明るさを体験してもらおう。北区ふるさと農家体験館の周知。			<対 象> 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
<備 考> 継続講座。					
13	博物館オリジナル・ブローチを作ってみよう	8月22日(土) 午前・午後 計2回	体験学習室	各回 24名	久保埜
<概 略> 29年度に実施した事業。常設展示室の資料をモチーフにしたオリジナル・ブローチを作る。					
<ねらい> 気軽に体験することで来館の満足感を高める。			<対 象> 子ども、一般		
<備 考> 継続講座。先着順で参加できる体験講座とする。大人の無での参加も可。					

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、さわって！昔の道具	1月13日(水)～ 2月26日(金)	体験学習室 野外	久保埜 安武
<概 略> 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の明治の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示し、調べ学習を行う。また、昔の道具（既製品）を使う体験事業（かまど体験・せんたく体験を予定）とセットで行う。				
<ねらい> 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。			<対 象> 区内小学校中学年	
<備 考> 通年と異なり体験学習室で展示を行うため、展示の一般公開は行わない。				

2	体験授業（考古学）	通年（依頼に応じて実施）	体験学習室	鈴木 安武
〈概 略〉 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。				
〈ねらい〉 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。			〈対 象〉 区内小学校 6 年生	
〈備 考〉				
3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員
〈概 略〉 北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。				
〈ねらい〉 北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。			〈対 象〉 区内の小学校・中学校・ 高等学校	
〈備 考〉 内容によって担当学芸員を決定。				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	安武
〈概 略〉 博物館の業務に関して話をしたり、体験してもらう。				
〈ねらい〉 博物館の業務の理解を深めてもらう。			〈対 象〉 区内の中学校・高等学校	
〈備 考〉 担当は窓口。				

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	7月28日（火）～8月9日（日）	館内	鈴木
〈概 略〉 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
〈ねらい〉 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。			〈対 象〉 大学等で学芸員養成課程を受講している人	

〈備 考〉 3月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。担当は窓口。				
2	見学実習	通年（依頼に応じて実施）	館内	鈴木 石倉 久保埜 安武
〈概 略〉 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。			〈対 象〉 学芸員養成課程を開講している大学	
〈備 考〉				

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関	久保埜 工藤
〈概 略〉 博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。				
〈ねらい〉 博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。			〈対 象〉 高齢者介護施設など	
〈備 考〉				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂 体験学習室	学芸員
〈概 略〉 外部機関からの依頼に応じて講義を行う。				
〈ねらい〉 依頼機関への協力。博物館のPR。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉 当館で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。下半期は講堂が使えないので、体験学習室で行える人数のみ。				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般団体</p>	
<p>〈備 考〉 担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。</p>				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校</p>	
<p>〈備 考〉 担当は窓口。</p>				

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜 安武
<p>〈概 略〉 館蔵資料を貸し出す。</p>				
<p>〈ねらい〉 他館等への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉 博物館・研究機関・学校など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	久保埜 安武

<概 略> 館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。	
<ねらい> 個人や会社などへの協力。博物館のPR。	<対 象> 個人・博物館・学校・会社 など
<備 考>	

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
<概 略> 北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。				
<ねらい> 地域資料の保護と活用。			<対 象> 一般	
<備 考>				
2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に応じて実施）	—	学芸員
<概 略> 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
<ねらい> 地域資料の保護と活用。			<対 象> 古美術店・古書店 など	
<備 考>				

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
<概 略> 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				

〈ねらい〉 環境保全。		〈対 象〉 館内		
〈備 考〉				
2	燻蒸	7月4日(土)~10日(金)	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜 安武
〈概 略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。		〈対 象〉 各種資料		
〈備 考〉 臨時休館日は7月7日(火)~10日(金)の予定。				